

授業科目	補聴器・人工内耳				
担当者	竹田利一・北野庸子・梅澤尚美・山口忍				(オムニバス)
専攻(科)	言語聴覚専攻科	学 年	2年	総単位数	1単位
		開講時期	後期	選択・必修	必修

■ 内 容

補聴器のフィッティングにおける総合的な知識、補聴器適応の決定、補聴器の調整選択、補聴器適合検査の指針(竹田)人工内耳等の仕組みや適応、マッピング、聴覚障害児者の臨床の実際について学ぶ(梅澤・北野・山口)

■ 到達目標

補聴器のフィッティングにおける総合的な知識、補聴器適応の決定、調整と選択の基礎、補聴器適合検査結果の評価について説明できる(竹田)人工内耳の原理を知り、適応や装着・リハビリテーションの内容や進め方を説明できる。人工内耳装用者など聴覚障害児者に適切な関わり方ができ、必要なリハビリテーション・リハビリテーションを提案することができる(梅澤・北野・山口)

■ 授業計画

- 第1回 補聴器の種類と仕組み(竹田)
- 第2回 補聴器の性能(補聴器の最新デジタル機能)(竹田)
- 第3回 補聴器に関する測定、JIS、カプラの違い、実耳測定、補聴器特性検査装置を使った実習(竹田)
- 第4回 補聴器調整器の使い方、調整器の意味(竹田)
- 第5回 イヤモールドに関する講義(竹田)
- 第6回 補聴器フィッティングの考え方(リニア・ノンリニア増幅)(竹田)
- 第7回 補聴器の適応と選択、補聴器装用指導(竹田)
- 第8回 補聴器装用効果の評価と補聴器適合検査の指針2010の解説(竹田)
- 第9回 難聴幼児の母親指導(北野)
- 第10回 難聴を有する大学生の支援(北野)
- 第11回 人工内耳の原理 仕組みや適応基準(梅澤)
- 第12回 音響処理方式とマッピング、人工内耳リハビリテーション(小児)(梅澤)
- 第13回 補聴器・人工内耳・聴覚障害総復習(山口)
- 第14回 補聴器・人工内耳・聴覚障害総復習(山口)
- 第15回 補聴器・人工内耳・聴覚障害総復習(山口)

■ 評価方法

筆記試験100%

■ 授業時間外の学習(予習・復習等)について

第1回～第8回は、1年時、2年前期に学習した補聴器の仕組み、特性測定の復習をして講義に臨むこと。第13回～15回はこれまで聴覚障害ⅠⅡⅢ、耳鼻咽喉科学、補聴器・人工内耳の第1回～12回の講義までの内容を総復習するので、過去のノートや教科書をよく読んでおくこと。講義中に質問し、口頭で解答を求めます。

■ 教科書

書名:補聴器フィッティングと適応の考え方
 著者名:小寺一興
 出版社:診断と治療社

■ 参考図書

■ 留意事項

新型コロナウイルス感染症対策や不測の事態（災害等）が発生した際、遠隔授業による授業運営に変更する可能性がある。また、新型コロナウイルス感染症の感染状況や入構禁止等の措置を講じた場合は、評価方法を変更することがあり、評価方法を変更する場合には、講義支援システム（Moodle）を通じて周知する。

■ 講義受講にあたって